



もう少し学校での様子を紹介したいので、おつきあいください。

みんなの心を和ませる作品の数々が、さくら学園に集まりました

小学校校内作品展がありました。夏休みの力作が2階の小中交流ホールに勢揃いしました。

中学校棟の廊下から入ると、右手に科学作品が、正面には絵画が紹介されています。ふと左手を見ると、アイデア貯金箱等の手の込んだ、またはかわいらしい作品が並んでいます。計画的に、丁寧に観察し、まとめたものかな。感じたままに自分で選んだ色で描いたのかな。頭の中でイメージした、自分が作りたいものを形にしたのかな。と、想像を膨らませました。

小学校棟の廊下から入ると、正面に習字作品がたくさん掲示され、右手には木工作品が並んでいます。手本を何回も見返して、何枚でも何枚でも書いた上に書いた自信作。木のよさを生かしながら組み上げ、自分のイメージに合わせる作品等がありました。

夏休み中のがんばり、ここにあり。でしたね。楽しい作品を見せてくれてありがとう。

中学校棟2階のろうかには、中学校3年生が美術(小学校の図工にあたります)の時間に作った和菓子が飾られています。くわしくは、「練り切り(ねりきり)」という名前のお菓子になります。ごめんなさい。お菓子とイイましたが、本物ではありません。お菓子のレプリカなので食べられません。

練り切りというお菓子は、日本の季節で見られる草花や道具などを写しとって作られる芸術的なお菓子です。皆さんは食べたことはあるかなあ。食べたことはなくても、見たことはあるかなあ。

中学校3年生は、色や形などを工夫して練り切り作品を完成させています。なかなかいいできばえですよ。作品には名前も付いています。名前の通りの作品だ。センスいい。などと考えながら、作品のよさを味わうのがいいかもしれませんね。児童生徒のみなさん。ぜひ足を運んで、見てくださいね。

吉野さくら学園とのつながりは、いつまでも

中学校3年生は卒部の時期を迎え、順次、中学1,2年生の部活動に移行しています。中学3年生は受験に向けての取組を進めていますが、卒部した部活は気になるようです。下校時に横目で活動の様子を見たり、部活動の場所に訪問したりしている様子が見受けられます。いまだ思い入れが強いのは当然ですよ。とてもほほえましいです。

吉野中学校の卒業生が、先日の夕方、来校してくれました。先生方と中学校生活の思い出に花を咲かせたり、将来の希望を語ってくれたりしていました。

このように、その時間、その場所で自分の力を出したことは、いつまでも確かな思い出として心に残ります。小学校、中学校のみんなが転校したり卒業したりした後も、いつでも吉野さくら学園に来てもらえるような学校でありたいと思っています。

最後に、私事で申し訳ありません。

私が約30年前に活動していた、山梨県にある都留文科大学ソフトボール部が、今年、39年ぶりにインカレ(全国大学選手権大会)に出場しました。私の先輩、同輩、後輩が目標にしていたインカレ出場を、現在の後輩が実現してくれました。

この偉業に、恥ずかしながら私たちは沸き立ちました。卒業以来出会っていなかった懐かしい面々とSNS上で会話をすることができました。現地応援するため、大会が開催される富山県に全国各地から7人が集結するまで盛り上がりました。大会の結果は、1回戦勝ち。2回戦負けでした。富山県の試合会場にいる先輩から送られてくる試合速報に、私も一喜一憂していました。

大会会場に集結したひとりに、能登半島地震の震災復興派遣職員として活躍されている先輩がいました。「能登は、まだまだ支援が行き届いていないところがたくさんあります。時々、能登のことを話題にしてくれるだけでうれしいです。」と、SNS上でのメッセージを結んでおられました。実際に能登の現場で活動しておられる方の言葉。私にとって身近な方の言葉なので、重みを感じました。

この先輩、9月22日(日)の18時05分~18時35分にNHKで放送される「サラメシ」に出演されます(奈良県はこの時間帯です)。おそらく番組の後半にて、能登での活動の様子が紹介されると思われます。宮城県出身である先輩の懐かしい訃り口調と、中井貴一さんの小気味いいナレーションを聞きながら、先輩のお弁当の中身とともに、能登の状況も確かめたいと思っています。

よろしければ、視聴いかがでしょうか。